

屋島北嶺

風光明媚な北嶺を訪れると、屋島の自然的特徴を間近で見ることができます。北嶺には4.6キロの舗装された小道が巡らされており、日本で国立公園に指定された最初の場所のひとつであるこの地の歴史、地質、動植物の生態について学ぶことができます。小道沿いの岩相は、1400 万年前までこの地で発生し、屋島の独特な地形の基となる硬い岩盤を形成した溶岩流の証拠を残しています。この火山岩を覆う粘土質の土壌は、樅や山桜などごくわずかな水でも生育することができる植物を支えています。またそれらの植物は、ミサゴやコウモリからサルやタヌキにいたるまで、数十種の鳥類・哺乳類の棲み処を提供しています。屋島は全体が急斜面の崖に囲まれており、晴れた日には小道沿いの展望台から素晴らしい景色を望むことができます。瀬戸内海の群島の景色は、小道の北端にある遊鶴亭展望台からの眺めが最高です。そこからは、ハイキング道が屋島の先端にある歴史的な大砲の砲台「長崎の鼻」に通じています。